

御前崎市 中学校部活動の地域移行

2024年11月版

御前崎市教育委員会

1. これまでの部活動と課題

中学校の部活動は、子どもたちの成長に対して大切な役割を担ってきました。目標に向けて仲間と切磋琢磨し、喜んだり、悲しんだり、一体感を感じたりした経験を思い出す方もいるのではないのでしょうか。部活動は、スポーツや文化芸術に親しむ機会だけでなく、主体性や責任感、連帯感を育成したり、信頼感・一体感を生み出したりするなど、子どもの成長にとって価値のある活動です。

しかし近年、御前崎市や周辺市町においても少子化が急速に進行しており、その速度は年々増えています。浜岡中学校、御前崎中学校でも、部員数の偏りや減少傾向が顕著に見られるようになり、一つの学校だけではチームが編成できない事態が生じています。さらに、顧問を担ってきた中学校の教員の業務量が増えており、長時間労働が社会的な問題になっています。

これらのことから、中学校が担ってきた部活動をこれまでと同じような部活動数や運営体制で維持することが困難な状況に陥っています。

御前崎市の部活動の取組状況（過去・現在・未来）

	2005年（平成17年） 御前崎市誕生2年目	2024年（令和6年） 現在	2034年（令和16年） 10年後（推計）
学級数 生徒数 教員数	・浜中 19クラス ・御中 16クラス 生徒数計 1236名 教員数計 73名	・浜中 15クラス ・御中 10クラス 生徒数計 843名 教員数計 54名	・浜中 12クラス ・御中 3クラス 生徒数計 492名 教員数計 44名
活動日数 下校時刻 （最大）	・平日 火木金 18:30まで （季節によって変動） ・土日 土日両日活動可	・平日 火木金 16:30まで （年間を通して同じ） ・土日 原則どちらか1日	新しい 部活動の形
加入 制度	全員加入制	自由加入制 （加入率 約80%）	
部活数	・浜中 17部活動 ・御中 14部活動	・浜中 16部活動 ・御中 13部活動	

課題

- ①10年後、御中と浜中の生徒数は、現在の843名から492名まで約4割の減少見込み（図1）
- ②顧問を担ってきた中学校の教員の長時間労働が社会的な問題（図2）



現状の体制では…

御前崎市内で中学生がスポーツや文化活動に取り組む環境を持続することが困難になる。

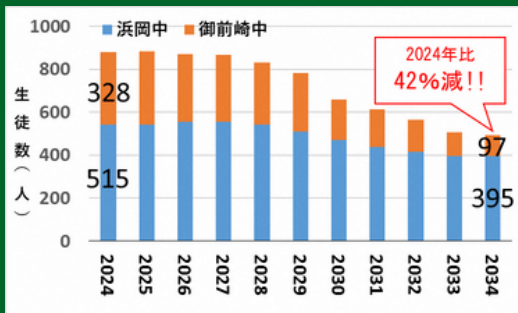


図1 御中と浜中の生徒数予測

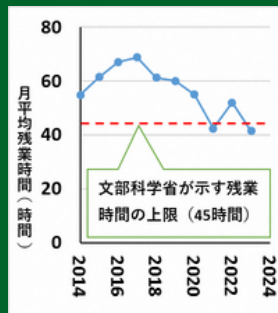


図2 過去10年間の市内中学校教員の月平均残業時間

2. どのように変わっていくの？

文部科学省（スポーツ庁、文化庁）は、部活動を中学校から地域へ段階的に移行することを提言しており、令和7年度末までを「休日部活動の地域移行に向けた改革集中期間」として目標に掲げています。部活動地域移行は、国や県単位で行うのではなく、市町ごとに実態に応じて進めることになっています。御前崎市では「御前崎モデル」と称して、部活動を地域へ移行していくことを予定しています。

これまでの部活動



浜岡中学校



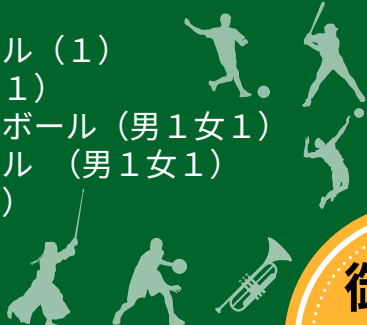
御前崎中学校



これまで部活動は、中学校の教員が主として関わり、外部コーチや保護者等の協力を得ながら成り立ってきた。

①御前崎地域クラブ（仮称）新設

- ・野球（1）
- ・ソフトボール（1）
- ・サッカー（1）
- ・バスケットボール（男1女1）
- ・バレーボール（男1女1）
- ・吹奏楽（1）
- ・剣道（1）



②スポーツ少年団の活動拡充

- （例）
- ・空手
- ・柔道
- ・少林寺拳法



御前崎モデル（案）

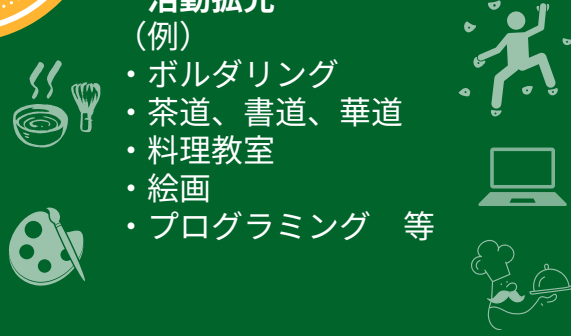
③御前崎市振興公社の教室やスポーツ団体の活動

- （例）
- ・体操
- ・テニス（軟式・硬式）
- ・水泳
- ・陸上
- ・卓球
- ・バドミントン
- ・マリンスポーツ



④御前崎市生涯学習講座の活動拡充

- （例）
- ・ボルダリング
- ・茶道、書道、華道
- ・料理教室
- ・絵画
- ・プログラミング 等



【御前崎モデルとは？】

中学校の部活動を再編し、以下の4種類の団体でスポーツ・文化活動を行う。

- ① 御前崎地域クラブ（仮称）（主に団体競技・活動）
- ② スポーツ少年団（主に武道）
- ③ 御前崎市振興公社やスポーツ団体等（主に個人競技）
- ④ 御前崎市生涯学習講座（主に個人競技・活動）

（御前崎市生涯学習ガイドブックに掲載された約30講座）

- ・種目、教室、講座名はあくまで例であり、すべて決定しているわけではありません。
- ・地域移行後の活動も自由加入制です。市内外問わず、参加可能です。
- ・これまでのスポーツ・文化活動の場は中学校が設置した活動が中心でした。地域移行によって選択の幅が広がり、可能な範囲で複数の活動を掛け持ちすることもできます。

活動場所について（例）

浜岡、御前崎中学校の学校施設をはじめとして、御前崎市や御前崎市振興公社※が管轄する市内のスポーツ・文化施設等を利用する予定です。



浜岡中学校



ぷるる



浜岡総合運動場



御前崎運動場



御前崎中学校



御前崎市民会館



B&G海洋センター

※御前崎市振興公社とは、「ぷるる」「B&G海洋センター」「浜岡総合運動場」「御前崎運動場」「御前崎市民会館」を管理している公益財団法人です。

指導者について

これまでの部活動

指導者



- ・ 中学校の教員
- ・ 保護者
- ・ 外部コーチ



地域移行後
(御前崎市指導者人材バンク（仮）)

指導者



- ・ 地域の住民や保護者（指導員）
- ・ スポーツ少年団の指導者
- ・ スポーツ団体の指導者
- ・ 振興公社の職員、生涯学習講座の講師
- ・ 指導を希望する中学校の教員※（指導員）

※指導を希望する中学校の教員は「教員」としてではなく、「指導員」として身分を切り替えて指導にあたります。

費用について

これまで中学校の部活動では、部ごとに大会参加費や協会への個人登録費、練習着やユニフォーム代、消耗品費等が徴収されてきました。保護者会がある一部の部活動については、保護者会費が集められていたところもあります。

しかし、地域移行によって、活動の母体は中学校から各団体へ、指導者は中学校の教員から指導員や各団体の職員等に変更されます。指導者については、全国的に人材不足が懸念されております。そのため、前述した費用に加えて、適正な「指導者報酬」が必要になってきます。

したがって、地域での活動に参加する際は、各団体や教室、講座が定めた「会費（月謝）」を支払っていただくことになります（受益者負担）。金額については、現在各団体と調整中です。

これまでの部活動

協会への登録費
練習着代
ユニフォーム代
消耗品費 等



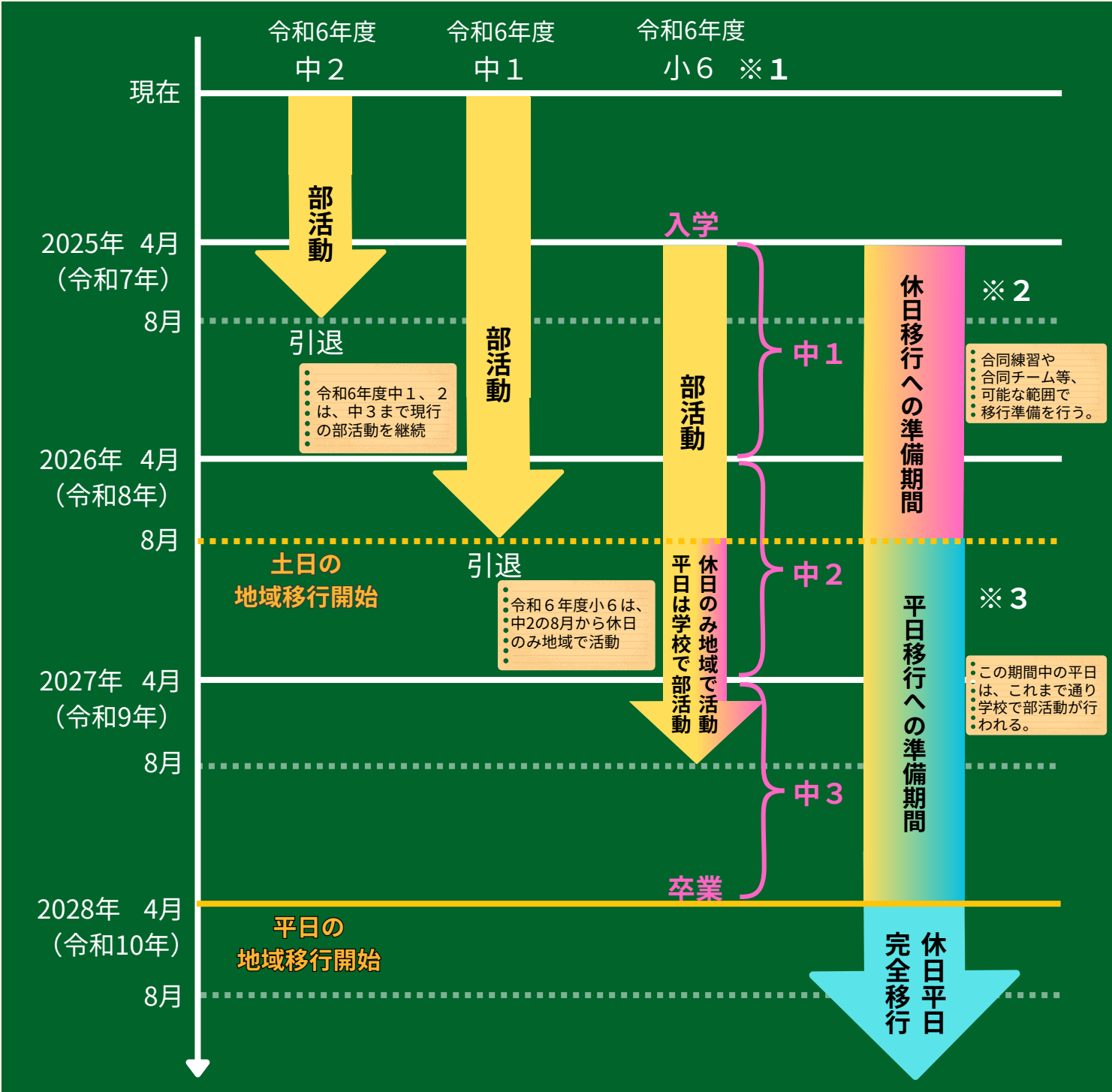
地域移行後

協会への登録費
練習着代
ユニフォーム代
消耗品費 等



各団体・教室・講座
会費（月謝）

3. 今後のスケジュール



※1 令和6年度小学校6年生の部活動はどうなっていくの？

地域移行は、まず休日の活動から実施し、段階的に平日の実施を予定しています。休日の移行は令和8年8月から、平日の移行は令和10年4月を予定しています。令和6年度小学校6年生のみなさんは、中学校2年生の8月以降の平日は中学校の部活動、休日は地域で活動することができます。

※2 休日移行への準備期間とは何？

令和8年7月までは、休日移行に向けた準備期間です。期間中、浜岡・御前崎両中学校の部員数や指導者等、チームの実態に応じて、合同練習の実施や合同チームが編成される場合があります。また、地域の方々等の指導員が指導者として参加する場合があります。

※3 平日移行への準備期間とは何？

地域移行は休日から開始されますが、令和10年3月までの平日はこれまで通り、学校における部活動が継続される予定です。平日の活動時間は16：30までと限られているため、個人のスキルを向上させるなど、目標を明確にした練習が求められるようになります。ただし、振興公社の教室や生涯学習講座など、活動によっては、準備期間中に平日移行されるものもあります。

二次元コードより地域移行に関するアンケート
にご協力ください。

